

公益社団法人大崎法人会

新春落語会・企業交流会

第一部

新春落語会

第二部 企業交流会



さんゆうでい

三遊亭 鳳楽 独演会

ほうらく

2015年1月21日(水)

◆入場料 会員企業 無料 / 一般一名 1000円

●開場/午後1時30分 ○開演/大崎市古川駅前大午後2時
●会場/芙蓉閣 大崎市古川駅前大通り TEL0229-23-0550

○問合せ先 公益社団法人大崎法人会 大崎市古川東町5番46号 TEL0229-23-5859

さんゆうていほうあく

三遊亭鳳楽プロフィール



1965年10月 五代目三遊亭円楽に入門。
 大師匠であり昭和の名人といわれた
 六代目三遊亭圓生より「楽松」と命名される。

1972年 楽松のまま二ツ日昇進。

1977年 第6回NHK新人落語コンクールで
 最優秀賞受賞。

1978年 日刊飛切落語会若手落語家
 奨励賞など多くの賞を受賞。

1979年9月 真打昇進、初代三遊亭鳳楽襲名。

1993年 文化庁芸術祭賞を受賞。

2007年 五代目円楽一門会の会長となる。

2009年惜しくも亡くなった五代目三遊亭円楽の総領弟子。また、五代目円楽一門会総勢40余名を率いる会長でもある。

円熟味を増した芸風は、正統的古典の実力派として定評がある。高座には、歌舞伎役者のような風格と気品ある色気が漂い、演じる斬には、人物描写、情景描写に緻密さがあふれ、滑稽斬から大ネタといわれる人情斬、怪談斬、芝居斬までその演出に無駄がない。昭和の名人といわれた大師匠六代目三遊亭圓生、師匠五代目三遊亭円楽へと引き継がれた三遊派の斬を継承している。

前座、二ツ目の頃から芸に定評があり、大量真打昇進を批判して落語協会を脱退した三遊亭圓生が最初で最後に認めた真打である。歌舞伎の澤村藤十郎丈は「鳳楽の廓斬からは廓の香りが漂ってくる」と言い、評論家の太田博氏は「端正な芸が圓生を思い出させる」（朝日新聞夕刊1998年9月12日）と評している。

現在、東京・日暮里サニーホールでの毎月の「三遊亭鳳楽独演会」、国立演芸場（永田町）での「三遊亭鳳楽独演会～圓生百席に挑戦～」を中心に全国各地で定期的な独演会を開催している。平成元年から開席した日本料理の銀座「しも田」における「銀座しも田風流寄席」（毎月第3土曜日）、「日本の酒と食の文化を守る会」による日本各地の銘酒の酒蔵での独演会で多くのファンを掴んでいる。又、1978年から現在も続いている、SBS静岡放送でラジオ番組のパーソナリティを務めて、好評を博している。

最近、各界より大師匠「圓生」襲名への期待も大きく、笑福学会では仙台・栗原・白石（宮城県）はじめ、盛岡・久慈（岩手県）、山形、郡山（福島県）、鹿角（秋田県）でレギュラー出演、円熟の芸で多くのファンを魅了している。

【第1部】新春落語会

開催日時：平成27年1月21日(水)開演/午後2時 開場/午後1時30分

開催会場：芙蓉閣(大崎市古川駅前大通り TEL0229-23-0550)

入場料：会員企業 無料 一般1名1,000円

※入場チケットは会場フロントでお買い求め下さい。

【第2部】企業交流会

開催日時：同日 午後3時40分

開催会場：芙蓉閣(大崎市古川駅前大通り TEL0229-23-0550)

参加費：3,000円

※参加の申込締め切りは、1月14日(水)です。

※事前に本部又は支部事務局(各商工会)でチケットをお買い求め下さい。

◇ 問合せ先 公益社団法人大崎法人会 大崎市古川東町5番46号
 TEL 0229-23-5859 FAX 0229-22-6395

◇ お申し込み 下記申し込み書に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込み下さい。



新春落語会・企業交流会参加申し込み書



事業所名		TEL	
所在地		FAX	
【第1部】新春落語会 参加者名	①	②	③
【第2部】企業交流会 参加者名	①	②	③

※お申し込み頂いた情報に関しては、落語会並びに企業交流会参加者名簿に利用するほか、法人会から催事情報のお知らせに利用します。